



2009年3月期 業績概要

2009年4月28日

アンリツ株式会社
社長 戸田 博道

東証第1部:6754
(<http://www.anritsu.co.jp/j/ir>)

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的
事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を
含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関
する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能
性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、
さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知お
きください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、
米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向
や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが
引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなど
です。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、
法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、
将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

- 当社の事業セグメントの呼称と事業内容
- サマリー
- 2009年3月期 業績概要
- 2010年3月期 通期見通し
- 2009年度の取り組み

当社の事業セグメントの呼称と事業内容



セグメント	サブセグメント	事業内容	担当事業部門の主な所在国
計測器	NGNおよびインフラ関連分野	光・デジタル・IP通信機器の開発・製造用テスト、有線ネットワークおよび無線インフラ敷設・保守用テスト、サービスアシュアランスなど	日本・米国・デンマーク・イタリア
	携帯端末分野	携帯電話端末開発・製造・保守用テスト	日本・英国
	汎用分野	無線設備、電子部品等の開発・製造用汎用テストなど	米国・日本・英国
情報通信		映像配信機器、通信機器、IPスイッチとその応用システムなど	日本
産業機械		食品・薬品・化粧品用重量選別機、異物検出機など	日本、タイ
その他		精密計測、光デバイスなど	日本

サマリー(1)



2009年3月期 業績サマリー

(単位:億円)

	前期実績	当期実績	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
受注高	1,015	815	△ 200	△20%
売上高	1,005	839	△ 166	△16%
営業利益	54	9	△ 45	△83%
経常利益	△20	2	22	-
税引前当期純利益	△32	△22	10	-
当期純利益	△39	△35	4	-
フリーキャッシュフロー	39	56	17	44%

(注1) 棚卸資産の評価方法として当期より低価法を適用しています。その影響額は、

- ① 棚卸資産評価損の営業外費用から営業費用への変更が9億円
- ② 期首に過去分として計上した特別損失が14億円

(注2) 値はそれぞれの欄で四捨五入

サマリー(2)



緊急経営施策・「経営革新2008」施策の結果・状況

施策		結果・状況
ワークシェアリング (休暇2日/月)		09年1月より継続して実施中(本体 とグループ会社の一部)
人員の 合理化	従業員(国内)	約110名
	従業員(海外)	約140名
	非正規社員 ^{注)}	約200名
拠点の合理化		計測器事業の国内生産体制の統 合(09年4月)
		フランス子会社の計測器製造工場 の閉鎖(09年3月)
その他(報酬減額等)		継続実施中

(注)非正規社員には日本の派遣社員を含まない。

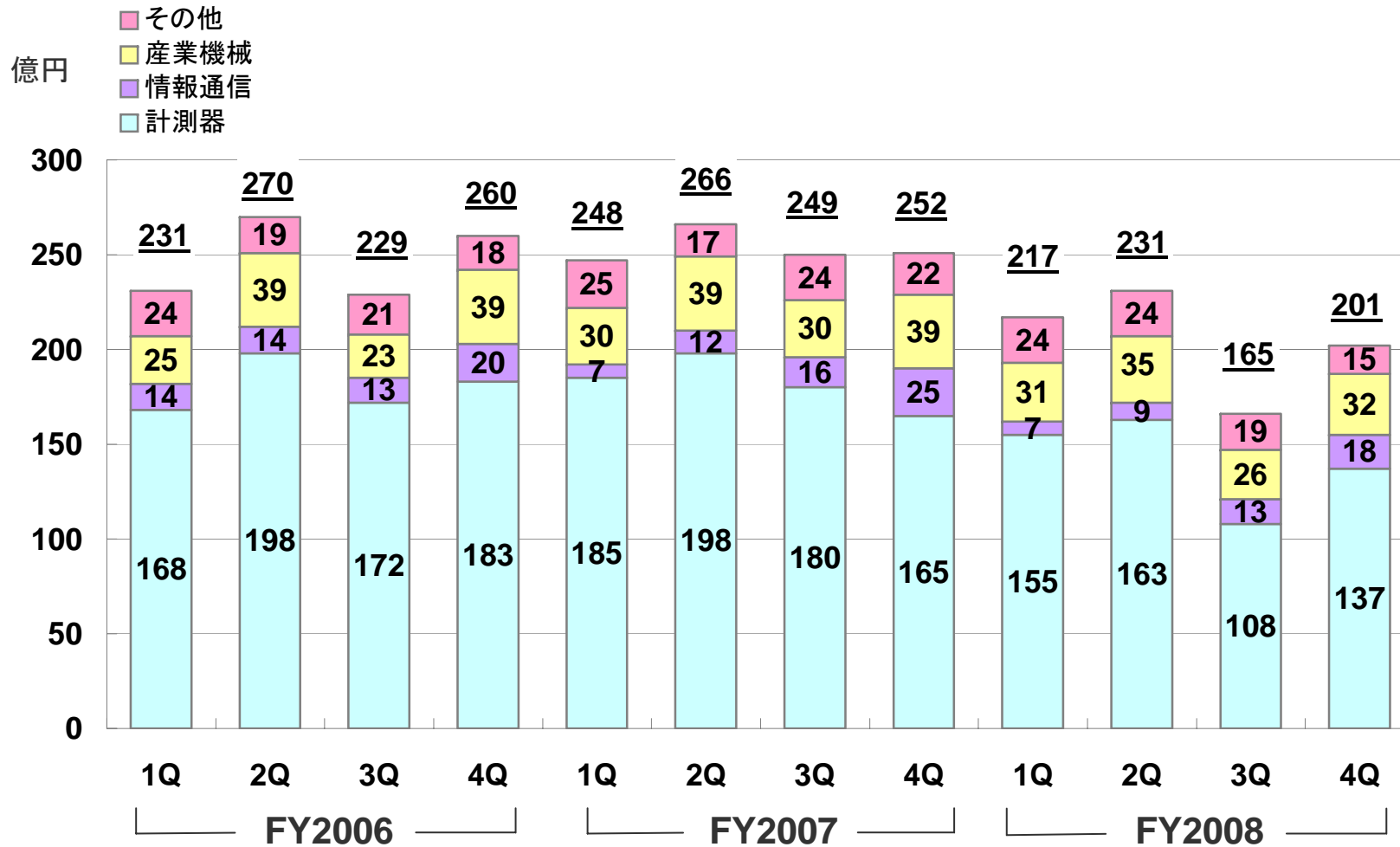
サマリー(3)



営業概況

計測器	11月以降、顧客の設備投資抑制により、全地域で進捗遅れ 日本: 3G携帯端末開発および製造用計測器が継続的に低迷 第4四半期から次世代携帯通信方式LTE開発需要が顕在化 米国: 堅調だった無線インフラ用ハンドヘルド計測器の需要が 11月以降は低調 EMEA: 通信事業者の投資抑制による計測器需要の低迷 サービスアシュアランス事業の受注遅れ・一部案件凍結 アジア: 前年度比マイナスながらも底堅い計測器需要
情報通信	投資案件の延伸などによる進捗遅れ
産業機械	アジアで設備投資抑制による進捗遅れ
その他	光デバイスはブロードバンド化により需要が堅調に推移

事業別受注推移(連結)



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

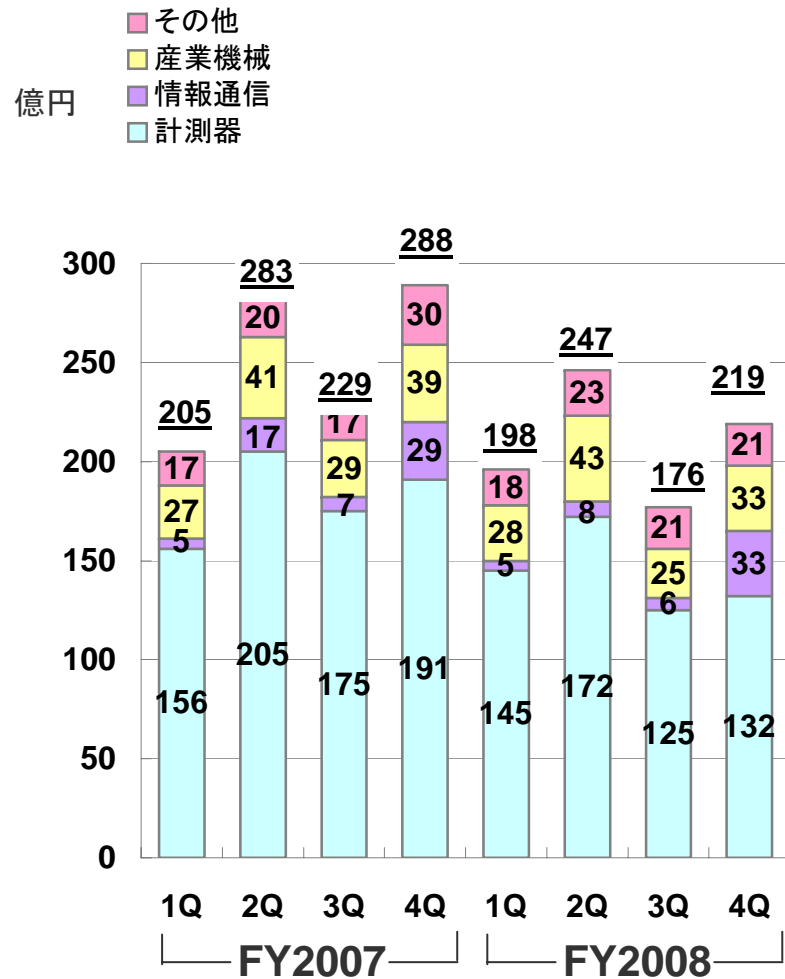
事業別売上高・営業利益(連結)

(単位: 億円)

		前期実績	当期実績	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
計測器	売上高	727	574	△ 153	△ 21%
	営業利益	41	△ 8	△ 49	-
情報通信	売上高	57	52	△ 5	△ 10%
	営業利益	1	1	0	△ 7%
産業機械	売上高	136	130	△ 6	△ 5%
	営業利益	8	6	△ 2	△ 27%
その他 (含: 内部 消去)	売上高	84	83	△ 1	△ 1%
	営業利益	3	10	7	204%
合計	売上高	1,005	839	△ 166	△ 16%
	営業利益	54	9	△ 45	△ 83%

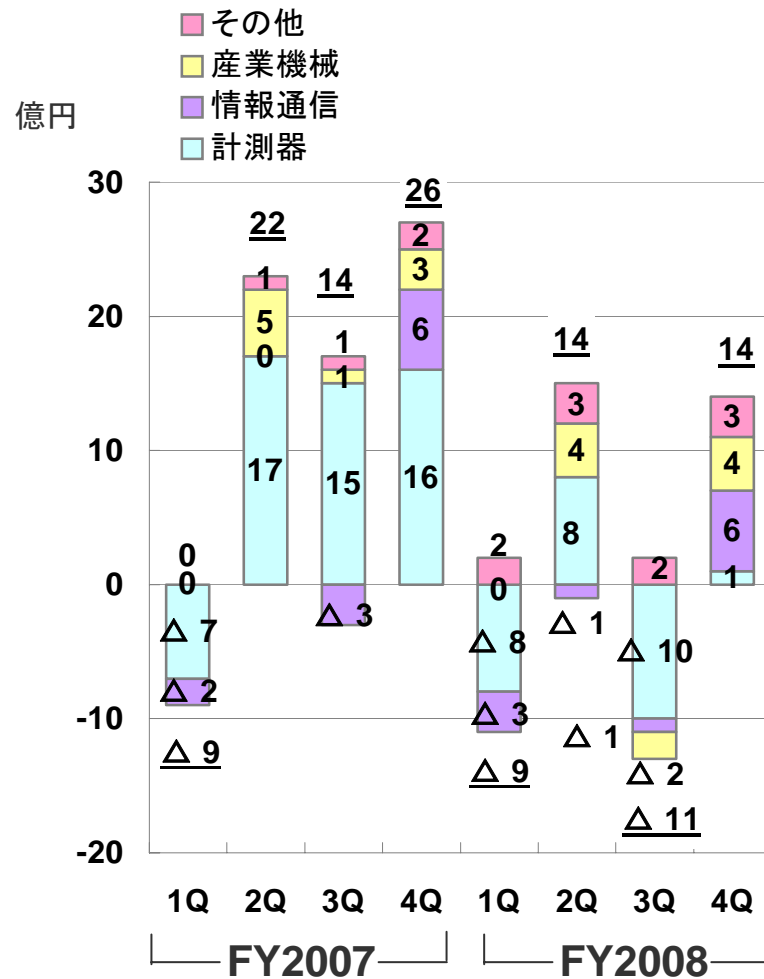
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

事業別売上高・営業損益推移(連結)



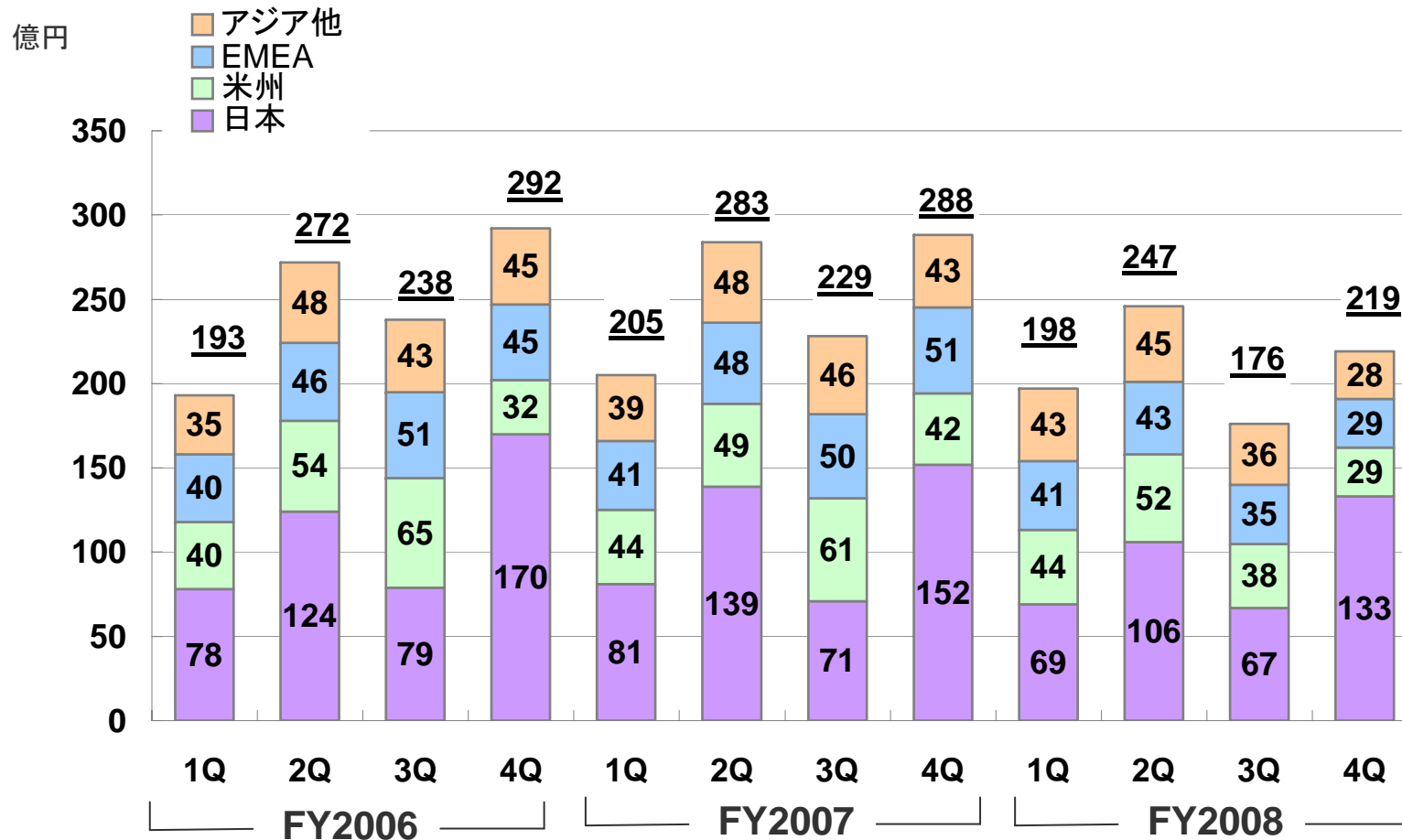
連結売上高

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入



連結営業利益

地域別売上高推移(連結)



(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

営業外・特別損益概要(連結)

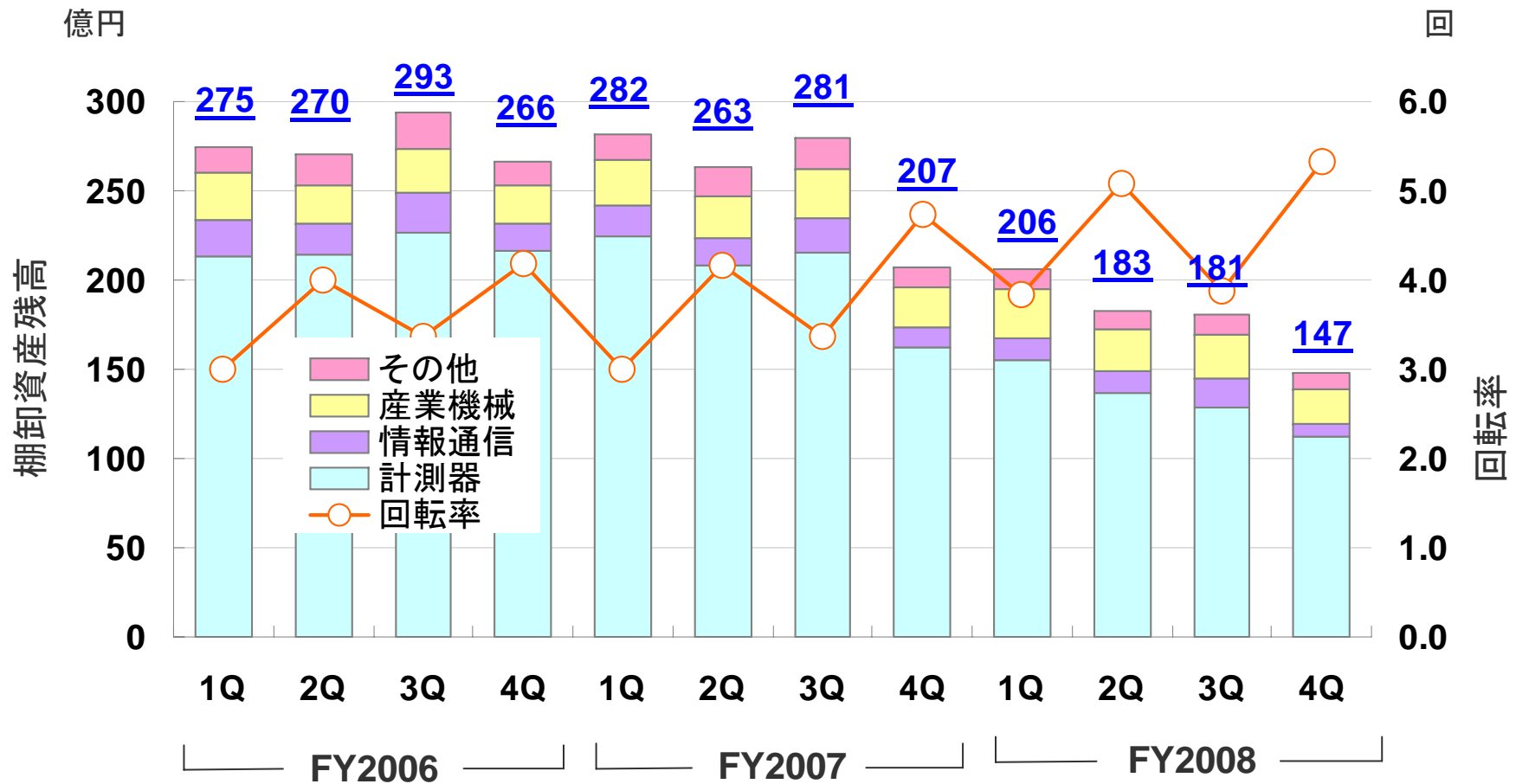


単位:百万円

		前期実績	当期実績
営業利益		5,356	905
	金融収支	△ 634	△ 530
	棚卸資産評価損・廃棄損	△ 5,648	(注1) △ 22
	為替差損益	△ 259	△ 266
	その他	△ 822	83
営業外損益計		△ 7,362	△ 735
経常利益		△ 2,006	171
	退職給付制度改定益	-	1,202
	事業構造改善費用	△ 1,156	△ 2,214
	棚卸資産評価損	-	△ 1,358
	投資有価証券評価損	△ 30	△ 170
	その他	35	133
特別損益計		△ 1,151	△ 2,407
税引前利益		△ 3,157	△ 2,236

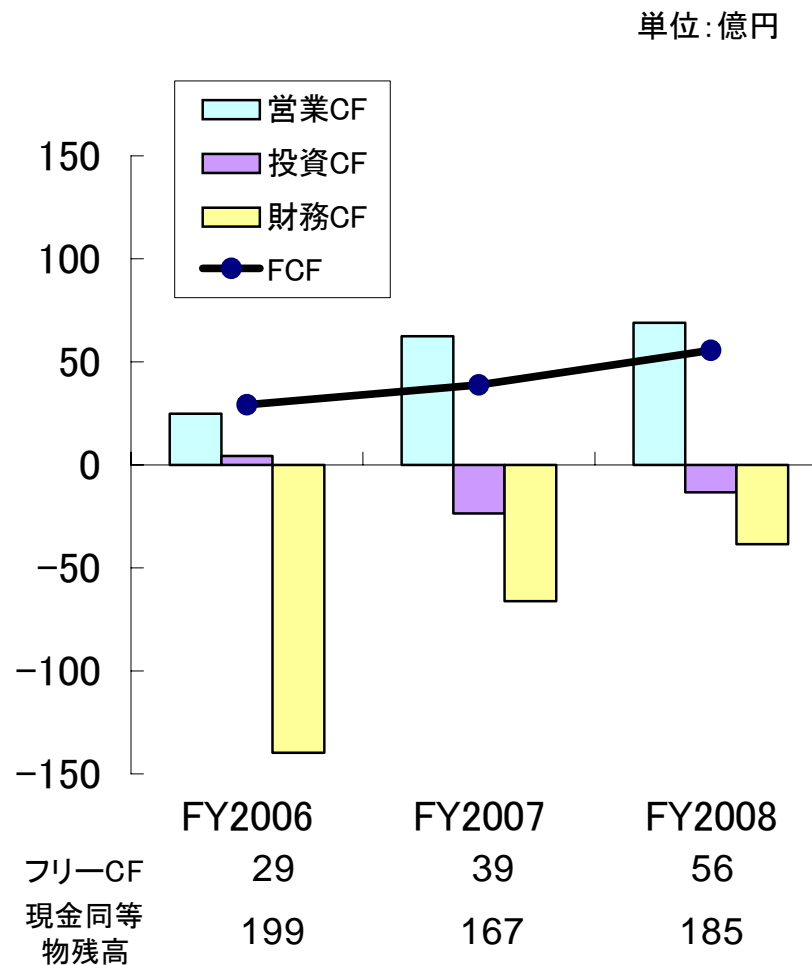
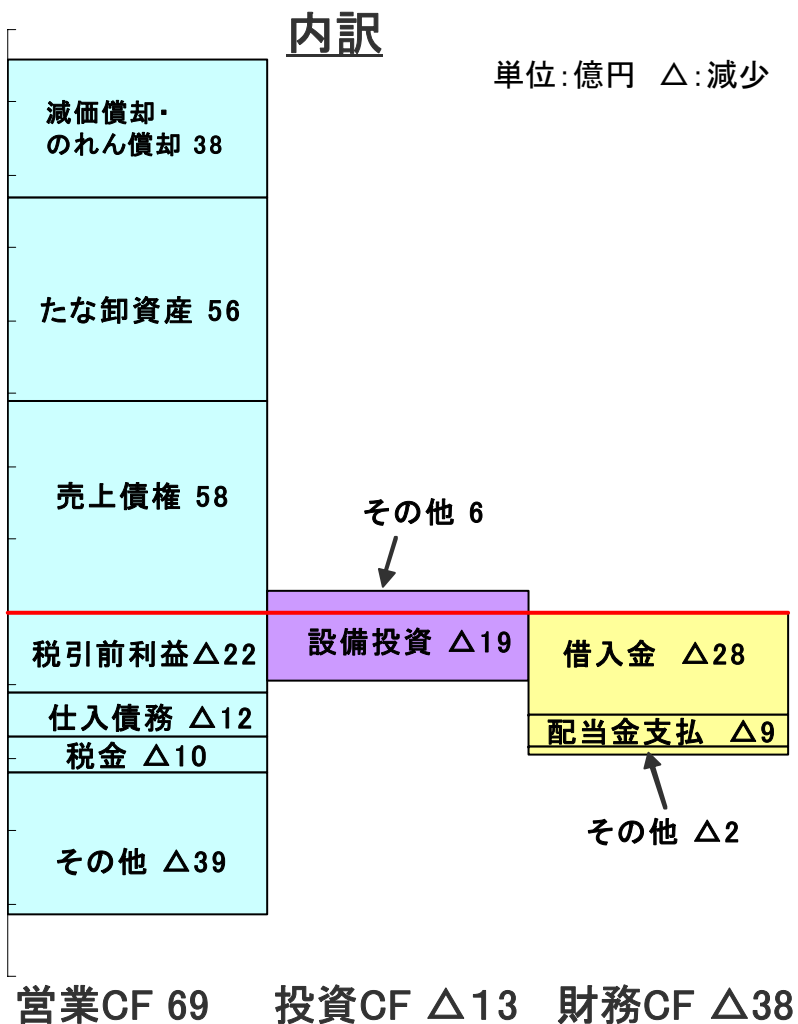
(注1)2008年度は廃棄損のみ (注2)値はそれぞれの欄で四捨五入

棚卸資産残高推移(連結)



(注1) 回転率 = 当四半期売上高 × 4 / 四半期単位平均棚卸資産 (注2) 値はそれぞれの欄で四捨五入

キャッシュフロー概要(連結)



(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

2010年3月期 通期見通し

【基本方針】

- ・中国3G携帯およびLTEの計測ビジネスの獲得・拡大
- ・キャッシュフローの創出と財務体質の安定

2010年3月期通期の見通し(連結)



(単位：億円)

		2009/3期	2010/3期		
		当期実績	通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
売上高		839	760	△ 79	△ 9%
営業利益		9	22	13	143%
経常利益		2	10	8	486%
当期純利益		△ 35	5	40	-
計測器	売上高	574	510	△ 64	△ 11%
	営業利益	△ 8	13	21	-
情報通信	売上高	52	50	△ 2	△ 4%
	営業利益	1	0	△ 1	-
産業機械	売上高	130	120	△ 10	△ 8%
	営業利益	6	4	△ 2	△ 33%
その他	売上高	83	80	△ 3	△ 4%
	営業利益	10	5	△ 5	△ 51%

配当：無配予定

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(参考) 想定為替レート：1米ドル=90円

2009年度の取り組み

通信市場の状況：

通信事業者の設備投資抑制

通信機器メーカーの設備投資の抑制・凍結

携帯からブロードバンド・ワイヤレス・アクセス端末へ

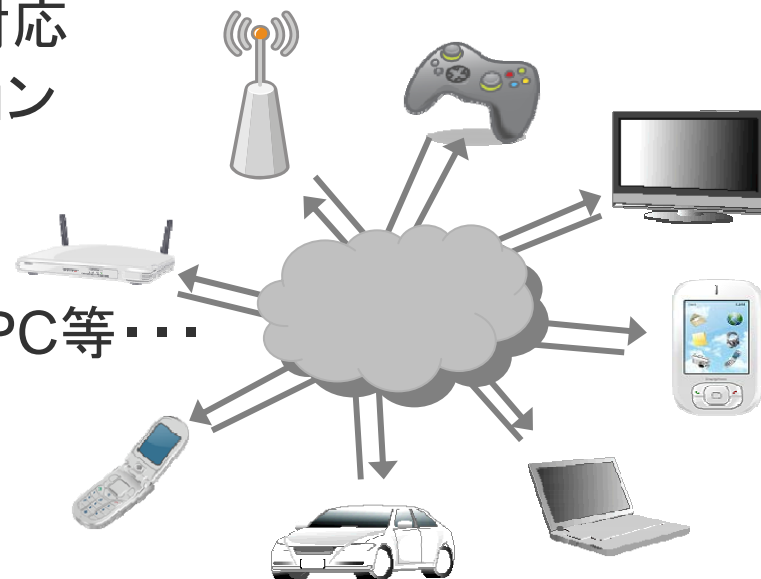
携帯電話 ⇒ ブロードバンドへの対応

多様なアプリケーション

様々な端末との接続

新しいプレイヤーの登場

スマートフォン、ウルトラモバイルPC等...



計測市場の状況

FY2009も厳しい状況が継続

中国3G、LTE用計測需要の立ち上がり

計測器事業：中国3G携帯の市場機会



当社計測器：3方式に対応（TD-SCDMA / WCDMA / CDMA2000）
通信事業者3社は、2009年中に各60,000の基地局建設予定
基地局建設用計測器の入札本格化

China Mobile
China Unicom
China Telecom

2009年
各60,000基地局
建設



MT8820

ワンボックステスタ

TD-SCDMA対応

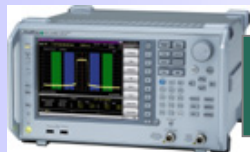
携帯端末 製造用



MS272x
S331
ML8740

エリアテスタ、基地局アナライザ、スペクトラムアナライザ

基地局 建設・保守用



MS269x
MG370x

シグナルアナライザ / 信号発生器

基地局 製造用

2008

2009

2010

2011

2012

計測器事業 : CTIA Emerging Technology Award受賞



CTIA WIRELESS 2009
A Division of CTIA-The Wireless Association®

April 1-3, 2009

MD8430A Signalling Tester for LTE



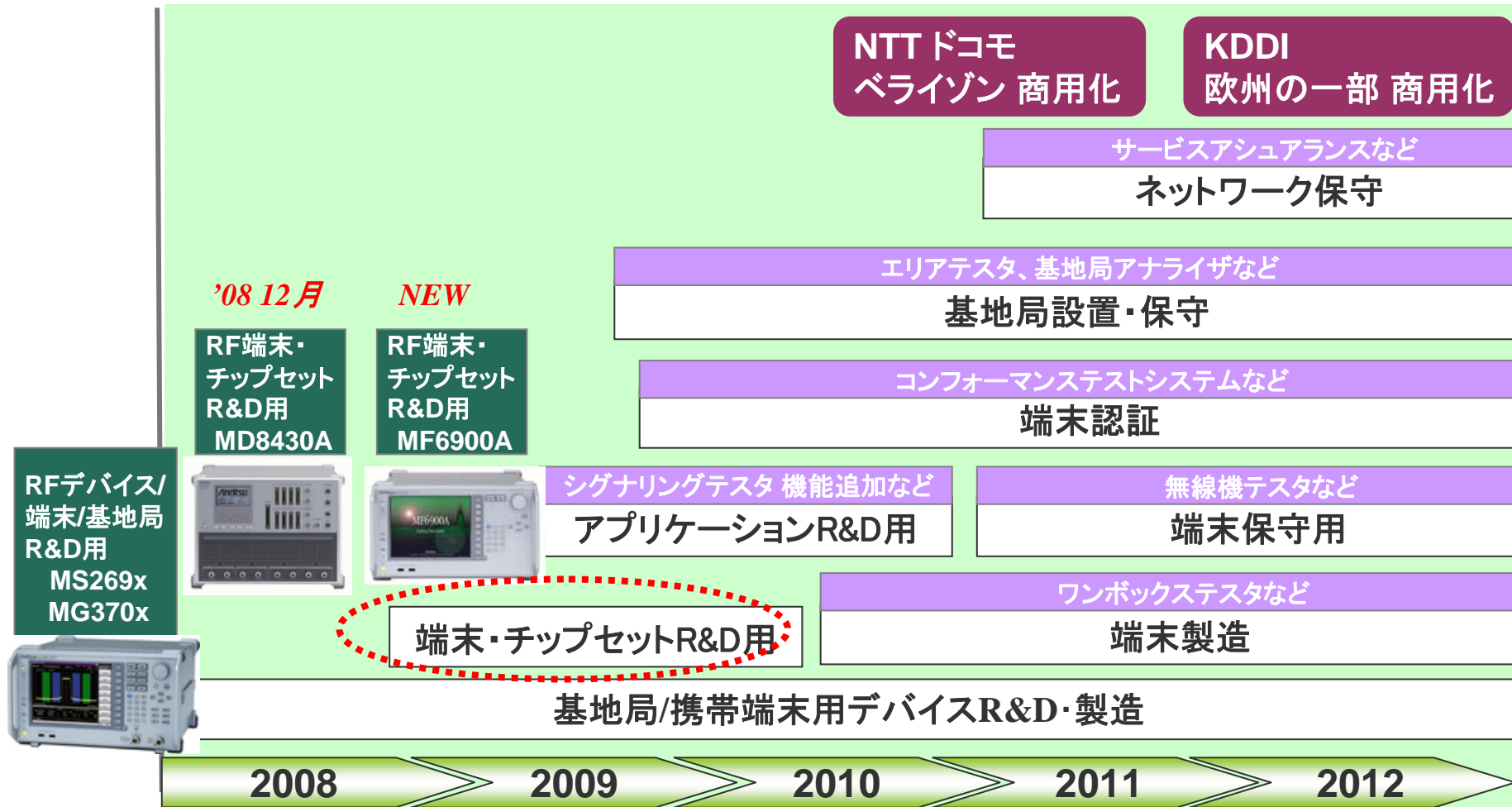
Discover What's Possible™

FINANCIAL RESULTS FY2008

Anritsu

計測器事業：LTEソリューションの市場機会

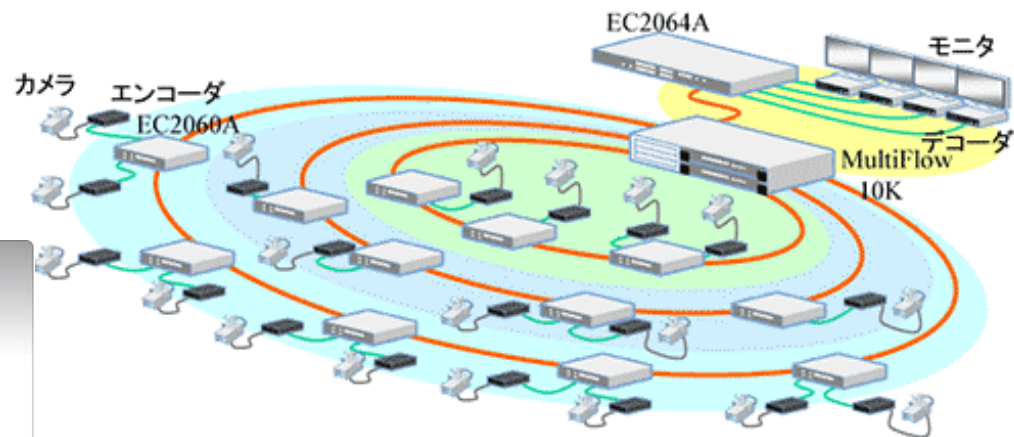
チップセット開発用計測器の需要立ち上がりに向けた新製品投入



協業によるシステムソリューション事業の推進

- 対象市場 : 官公庁、社会インフラ、民間ネットワークなど
市場動向 : セキュリティ、防災、社会インフラへの投資は継続
提供ソリューション : 映像監視システム、帯域制御装置、
減災コミュニケーションシステムなど

レイヤスイッチを活用した複数映像監視ネットワーク



データ配信用 IPv6対応の帯域制御装置



食品検査市場における競争力強化

対象市場: 食品、薬品、化粧品など

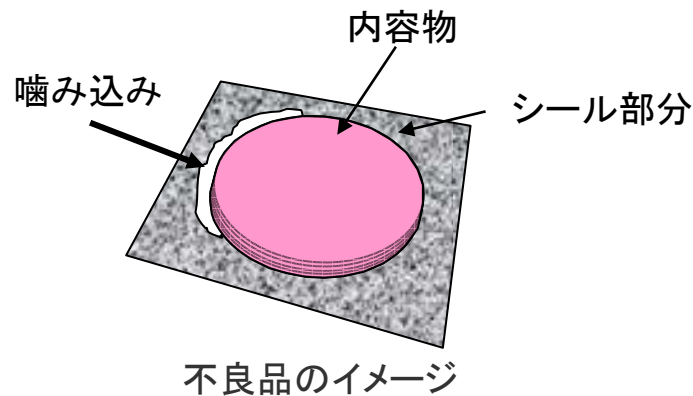
市場動向: 食品市場は投資抑制は一部あるものの、食の安全・安心意識による
安定的な検査需要

薬品市場は設備投資が拡大傾向

提供ソリューション: X線異物検出機、重量選別機、自動電子計量機など

【X線異物検出機の新しいアプリケーション】

~噛み込み検査機能 スライスハムの例~



Anritsu

Discover What's Possible™